

第18回大阪府障がい者スポーツ大会 実施要綱

1 目的

本大会は、大阪府内における競技スポーツの祭典として開催するものである。
また、大会の開催を通じて障がい者スポーツの競技性を高めるとともに、障がい者一人ひとりの競技力の向上を図ることを目的とする。
なお、この大会は、第18回全国障害者スポーツ大会（以下「全国大会」という。）に出場する選手の選考会を兼ねるものとする。

2 主催 大阪府

3 主管 大阪府障がい者スポーツ協会・ファインプラザ大阪運営事業共同体

4 実施競技（参加対象障がい）・開催期日、会場及び予定時間

競 技	期 日	会 場	受付場所
陸 上 競 技 (身体/知的障がい者)	平成30年5月13日(日)	万博記念競技場	競技場 正面 入り口
	受付時間 8:30~9:00	開会式 9:45	競技開始 10:30
水 泳 (身体/知的障がい者)	平成30年5月19日(土)	東和薬品RAC TABドーム (大阪府立門真スポーツセンター)	メインプール入り口
	受付時間 9:00~9:30	開始式 10:15	競技開始 11:00
ア ー チェ リ ー (身体障がい者)	平成30年5月20日(日)	浜寺公園アーチェリー場	入り口
	受付時間 9:30~9:45	開始式 10:00	競技開始 10:30
ボ ウ リ ン グ (知的障がい者)	平成30年5月26日(土)	イーグルボウル	1階
	受付時間 9:00~9:30	開始式 9:45	競技開始 10:00
フライングディスク (身体/知的障がい者)	平成30年5月27日(日)	ファインプラザ大阪 (大阪府立障がい者交流促進センター)	2階正面入り口
	受付時間 9:10~9:40	開始式 10:00	競技開始 10:30
卓 球 (身体/知的/精神障がい者) ※	平成30年6月2日(土)	東和薬品RAC TABドーム (大阪府立門真スポーツセンター)	しょうめん入り口 正面入り口
	※精神障がい者はオープン競技 受付時間 9:00~9:30	開始式 10:00	競技開始 10:30

【※1】第19回全国障害者スポーツ大会（平成31年）より、卓球：精神障がい者のクラスが設けられます。

- (1) 競技運営
- ア 全国障害者スポーツ大会競技規則（平成30年度版）及び本大会競技実施要項により行う。
- なお、競技規則に定められた種目のうち、実施困難なものがある場合は、実施しない。
- イ 陸上競技・水泳・フライングディスクは、2種目まで出場できる。
- ウ 予選は行わず、1回の決勝競技のみとする。
- エ 原則として8名までの組ごとに競技を行う。但し、陸上競技の人数は、10名以内とする。
- オ 出場者の少ない種目は、別の障がい区分の者と一緒に競技することがある。この場合、順位の決定と表彰は、それぞれの年齢区分及び障がい区分ごとに行う。
- カ 陸上競技の申込種目によっては、2種目連続での競技となる場合がある。
- キ 陸上競技の800m競走は、最初のカーブが終わるまで、バレーレーンを走らなければならない。
- ク 陸上競技の1500m競走は、8分を超えて新たな周回に入らないことは認めない。
- ケ アーチェリーは、競技経験・弓具を有している者とし、つけ矢（練習）6本の内、3本以上が的から外れた場合は、安全管理上、射場長が競技を中止させる。
- コ 卓球は、トーナメント形式を原則とするが、3名以下の場合はリーグ形式により行う場合がある。
- サ ボウリングの出場資格は、アベレージが「80点」以上の者とする。
- シ ボウリングはデュアルレーン（アメリカン）方式で1人2ゲーム行う。
- (2) 雨天・荒天時の取り扱い
- ア 雨天決行を原則とするが、荒天時の取り扱いは、主催者において決定する。
- イ 実施競技が荒天等により、期日に開催できないと主催者が判断した場合は、後日に延期する。
- (3) 開始式
- 開始式を実施する場合は、競技開始前に行う。
- (4) その他
- ア 障がいにより年齢区分が異なる。（アーチェリー・フライングディスク競技は除く）
- ①身体障がい者 平成30年4月1日現在、1部（39歳以下）、2部（40歳以上）の部に分けて競技を実施する。
- ②知的障がい者 平成30年4月1日現在、少年（19歳以下）、青年（20歳～35歳）、壮年（36歳以上）の各部に分けて競技を実施する。
- ③精神障がい者（オープン競技：卓球）は年齢区分を設けない。
- イ 競技服装、競技用具及び競技に関する抗議については、全国障害者スポーツ大会競技規則及び各競技実施要項（競技者注意事項を含む）に従うこと。
- ウ 選手の参加資格及び障がい区分については、抗議することはできない。ただし、主催者においてこれに疑義が生じた場合は、医学的検査等を含む資格審査を行い、失格又は障がい区分及び組み合わせの変更を行うことがある。
- 5 表彰
- ア 表彰は、種目終了後又は、競技終了後ただちに行う。
- イ 各競技、組ごとの1位から3位までの選手に、それぞれメダルを授与する。
- ウ 卓球において、トーナメント形式の競技を行った場合は、3位決定戦を実施する。
- エ 記録については、後日記録集を発行する。
- 6 参加資格
- 第18回大阪府障がい者スポーツ大会（以下「府大会」という。）に参加できる選手は、次の全ての条件を満たすものとする。
- ア 平成30年4月1日現在、13歳以上の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者
- イ 身体障がい者は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により、身体障がい者手帳の交付を受けた者。
- 知的障がい者は、厚生事務次官通知（昭和48年9月27日厚生省発児第156号）による療育手帳の交付を受けた者、あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。※1
- 精神障がい者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条により、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。※2

ウ おおさかふない おおさかし さかいし のぞ げんじゅうしょ じゅうみんひょう ち ゆう もの おおさかふない おおさかし さかいし
大阪府内（大阪市・堺市を除く）に現住所（住民票のある地）を有する者、または大阪府内（大阪市・堺市を
のぞ しせつ がっこうとう にゅうしょおよ つうしよなら つうがく もの ふたいかい けっか さんこう ぜんこくたいかい
除く）の施設や学校等に入所及び通所並びに通学している者。（なお、府大会の結果を参考とする全国大会の
はけん へいせい ねん がつ にちげんざい ひ つつ おおさかふない おおさかし さかいし のぞ げんじゅうしょ
派遣にあたっては、平成30年6月30日現在において引き続き大阪府内（大阪市・堺市を除く）に現住所（
じゅうみんひょう ち ゆう おおさかふない おおさかし さかいし のぞ しせつ がっこうとう にゅうしょおよ つうしよなら
住民票のある地）を有している、または大阪府内（大阪市・堺市を除く）の施設や学校等に入所及び通所並びに
つうがく しょうけん
通学していることが要件となる。）

※1 知的障害者（児）社会福祉施設、特別支援学校、特別支援学級等に在籍している者。

※2 自立支援医療（精神通院）受給者証の交付を受けた者。

なお、参加者の個人情報については、当大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、
ぶろぐらむ きろくしゅうとう しちようそんめい ぜっけんばんごう しめい せいべつ しょう しゅべつ しんたい ちてき せいしん しょう
プログラム・記録集等には、市町村名・ゼッケン番号・氏名・性別・障がい種別（身体/知的/精神）・障がい
くぶんばんごう ぶべつ きろく じゅんい けいざい ふたいかいお ぜんこくたいかい かんれん こうほうし ほうむ べーじ ふ
区分番号・部別・記録（順位）を掲載いたします。また、府大会及び全国大会に関連する広報誌やホームページ、府
しりょうていきょう きじ てれび しんぶんなどますこみ ほうどうなど せんしゅ しめい しゃしん えいどう しょう しゅべつなど
が資料提供する記事、テレビ・新聞等マスコミの報道等にも、選手ご本人の氏名・写真・映像・障がい種別等
けいざい てん りょうしょう うえ もう こ
が掲載されることがあります。これらの点についてあらかじめご了承の上、お申し込みください。

7 参加申込

(1) 申込方法

さんかきぼうしゃ べっし こじんきょうぎさんかもうしこみしよ ひつようじこう きにゆう うえ じゅうみんひょう じゅうしよ つうしよも つうがく
参加希望者は、別紙（個人競技参加申込書）に必要事項を記入の上、住民票の住所または通所若しくは通学する
しせつ にゅうしよふく がっこうとう じゅうしよ かんかつ しちようそん しょう ふくしたんとうか もう こ
施設（入所含む。）や学校等の住所を管轄する市町村の障がい福祉担当課に申し込むこととする。
しせつ がっこうとう べっし こじんきょうぎさんかもうしこみしよ と もう こ
施設や学校等で別紙（個人競技参加申込書）を取りまとめてお申し込みいただけます。）

(2) 申込期間

へいせい ねん がつ か すい へいせい ねん がつ にち げつ きげんないひつちやく
平成30年2月7日（水）から平成30年3月19日（月）までとする。（期限内必着とする。）

なお、原則として、申込締切後の変更は認めない。

(3) 問い合わせ先 ファインプラザ大阪運営事業共同体 大阪府障がい者スポーツ協会
と あ さき ふ あ い ん ぶ ら ざ おおさかうんえいじぎょうきょうどうたい おおさかふしやう しゃす ぼ ー つきやうかい
〒 590-0137 さかいしみなみくしろやまだい ちやう ばん ごう ふ あ い ん ぶ ら ざ おおさか
堺市南区城山台5丁1番2号（ファインプラザ大阪）
TEL 072-296-6311 FAX 072-296-6313

8 申込書の取りまとめ

しちようそんしやう ふくしたんとうか さんかもうしこみしよ と そうかつひやう さくせい うえ へいせい ねん がつ にち きん まで
市町村障がい福祉担当課は、参加申込書を取りまとめ、総括表を作成の上、平成30年3月23日（金）迄に
ふ あ い ん ぶ ら ざ おおさかうんえいじぎょうきょうどうたい ていしゆつ きげんないひつちやく
ファインプラザ大阪運営事業共同体へ提出することとする。（期限内必着とする。）

9 ゼッケン（ナンバーカード）

(1) 競技に参加する者は、競技服装に必ずゼッケンをつけるものとする。

ただし、水泳の選手に関しては、入水前の服装にゼッケンをつけるものとする。（水着にはつけないこと）

(2) ゼッケンは主催者で用意し、大会当日に市町村等を通じて配付する。

10 全国大会への出場選手の選考

(1) 「全国大会」への出場選手の選考については、全国大会選手選考委員会により選考し決定する。選考された
ぜんこくたいかい しゆつじょうせんしゆ せんこう ぜんこくたいかいせんしゆせんこういいんかい せんこう けつてい せんこう
選手のみ、大阪府障がい者スポーツ大会の全日程が終了後、平成30年6月20日（水）までに書面等にて通知す
る。但し、オープン競技（卓球・精神障がい者）は選考の対象とはならない。

(2) 大阪府障がい者スポーツ大会参加申込みの際、全国大会への参加希望の記載にあたっては、本人の意思の他、家族・
おおさかふしやう しゃす ぼ ー つたいかいさんかもうしこ さい ぜんこくたいかい さんかきぼう きさい ほんにん い し ほか かぞく
所属長の確認を取り、必ず了解を得ること。

(3) 上記4の（2）イによる大会の延期で全国大会の参加申込期限までに、選手選考が間に合わない場合、全国大会への
はけんせんしゆ か こ おおさかふしやう しゃす ぼ ー つたいかい じつせきとう こうりよ せんしゆせんこういいんかい せんこう
派遣選手については、過去の大阪府障がい者スポーツ大会の実績等を考慮し選手選考委員会において選考する。

11 その他

(1) 参加料は徴収しない。

(2) 各競技、受付時間を設定している。また、受付は市町村（代表者）ごとに行う。

受付の完了していない選手は、競技に出場できないので注意すること（時間厳守）。

(3) 競技場内に入場できる者は、主催者の承認を得た者に限られる。競技場内では係員の指示に従うこと。

(4) 出場選手は、健康管理には十分留意し、体調等に不安のある場合は医師の診断を受けること。

なお、大会当日の傷害、疾病、事故等について、応急手当を除いて主催者は一切の責任を負わないので健康と
あんぜん かくじじゅうぶんちゆうい
安全については各自十分注意すること。

大阪府障がい者スポーツ大会参加申込書の記入要領

はじめに

***参加者の個人情報については、障がい者スポーツ振興等の目的以外に使用することはありませんが、プログラム・記録集等には、市町村名・ゼッケン番号・氏名・性別・障がい種別(身体/知的/精神)・障がい区分番号・部別・記録(順位)を掲載いたします。**

***大阪府大会及び全国大会に関連する広報誌やホームページ、府が資料提供する記事、テレビ・新聞等マスコミの報道や広報誌等にも、選手ご本人の氏名・写真・映像・障がい種別等が掲載されることがあります。これらの点についてあらかじめご了承ください、承の上、お申し込みください。**

① 氏名、フリガナ

あなたの氏名、フリガナを正確・丁寧・明瞭に記入してください。

② 性別

該当する性別に○を付けてください。

③ 生年月日

生年月日を記入するとともに、平成30年4月1日現在の年齢を記入してください。

④ 住所

現住所・緊急連絡先・電話番号・FAX番号を記入してください。また、施設や学校等から申込みされる場合は、施設及び学校等の名称も記入してください。

⑤ 障がい種別(手帳)

ア 身体障がい者の場合
 ・手帳の番号及び種別・級について正確に記入してください。
 ・手帳の記載内容について、そのとおり全文を記入してください。
 (視覚に障がいのある方は、左右それぞれの視力を記入してください。)

イ 知的障がい者の場合
 ・手帳番号及び障がい程度について正確に記入してください。

ウ 精神障がい者の場合
 ・手帳番号・級について正確に記入してください。

⑥ 障がいの分類

該当する障がいの欄にチェックしてください。

⑦ 重複障がい

出場する障がい区分と異なる障がいがある場合のみ、該当する欄にチェックしてください。

⑧ 競技中に使用する補装具(肢体不自由者のみ)

肢体不自由者で競技中に装具を使用される方は、該当する装具欄にチェックしてください。

⑨ 全国大会の出場歴

該当する欄にチェックしてください。

⑩ 全国大会の出場意思

全国大会の選手に選考された場合、出場の意思があるかどうかを該当する欄にチェックしてください。

※意思のない場合、選考対象とはなりません。(オープン競技：卓球 精神障がい者は選考対象外。)

⑪ 競技区分・障がい区分・参加希望種目・自己記録(陸上・卓球除く)・特記事項

A 陸上競技	→ 5ページへ	B 水泳	→ 7ページへ
C アーチェリー	→ 9ページへ	D 卓球	→ 10ページへ
E フライングディスク	→ 11ページへ	F ボウリング	→ 12ページへ

弁当の申込み(ボウリング・アーチェリーを除く)

弁当は1個700円(税込)で、自己負担です。申込みされる方のみ、該当する競技にチェックし、個数を記入してください。

ただし、アーチェリー・ボウリングは、午前中で競技終了予定のため、弁当の申込みはできません。

陸上競技

1. 競技種目

「A」と記入してください。

2. 障がい区分

下の障がい区分の中から、自分に該当する番号を記入してください。

グループ		番号	障がい	注意事項
肢体 I	上肢	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	①完全とは、上肢や下肢の3大関節の全てに機能障がいのあるものをいう。下肢の場合は、補装具なしでは体重を支えきれないもの。
		2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	②関節離断は、上位の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。
		3	両上腕切断または、両上肢完全	
	下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全	
		5	片大腿切断または、片下肢完全	
		6	両下腿切断	
		7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	
		8	両大腿切断または、両下肢完全	
	体幹	9	体幹	③体幹とは、脳原性麻痺を除く、頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形があるもの。(脊柱カリエスなど)
肢体 II	車いす 通常使用	10	第6頸髄まで残存	①座位バランスの判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一
		11	第7頸髄まで残存	つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態でも手の支えなく
		12	第8頸髄まで残存	座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。
		13	下肢麻痺で座位バランスなし	②頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区
		14	下肢麻痺で座位バランスあり	分に入れる。
		15	その他の車いす	
肢体 III	脳原性麻痺	16	四肢麻痺で車いす使用	①脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に
		17	けつて移動	起因する機能障がいを含む。
		18	片上下肢で車いす使用	
		19	上肢で車いす使用	
		20	その他走不能	
		21	上肢に不随意運動を伴う走可能	
		22	その他走可能	
肢体 IV		23	電動車いす常用	①原則として四肢体幹機能障がい等により日常的に電動車いすを使用している者
視覚障がい		24	視力0から0.01まで(光を通さないアイマスクを装着する)	
		25	その他の視覚障がい	①視力は両眼の視力の和で判定する。
聴覚障がい		26	聴覚・平衡機能障がい、 音声・言語・そしゃく機能障がい	①「、」は、「あるいは」を意味する。
知的障がい		27	知的障がい	
内部障がい		28	ぼうこう又は直腸機能障がい	①脊髄損傷等で合併した直腸・ぼうこう機能障がいは含まない。

- (注) ①「肢体 I」は、切断・機能障がい者、「肢体 II」は、脳原性麻痺以外で車いす使用者、「肢体 III」は、脳原性麻痺のグループをさす。
- ② 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合は、片側の障がいとして区分する。
- 多肢切断や両上肢障がいなどのように、複数の部位の切断や機能障がいがある場合は、3肢以上や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。

3. 参加希望種目

参加を希望する種目については、「種目表」により、該当障がい区分で出場可能かどうかを十分確認のうえ、選択してください。

◎男女別・年齢区分別										▲男女別・年齢区分なし																			
ばんごう 番号	しょうがいぶん 障がい区分	し 肢 1									し 肢 2						し 肢 3						し 肢 4	しかく 視 覚	ちようかく 聴 覚	ちてき 知的	ないぶ 内部		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	50m	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎						◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
2	100m	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎						◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	
3	200m											◎	◎	◎						◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	
4	400m																											◎	
5	800m											◎	◎	◎						◎						◎	◎	◎	◎
6	1500m		◎									◎		◎						◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
7	すららーむ スラローム										◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎				◎					
8	はしりたかとび 走高跳		▲	▲																						▲	▲	▲	
9	たち ははとび 立幅跳	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎												◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
10	はしり ははとび 走幅跳	◎	◎	◎	◎	◎				◎												◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
11	ほうがん なげ 砲丸投	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎		
12	そふとぼーる なげ ソフトボール投	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
13	じゃべりっくすろー ジャベリックスロー	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
14	びーんばっぐ なげ ビーンバッグ投										◎	◎					◎	◎						◎					

(注意) 全国大会の陸上競技において、競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投擲競技はジャベリックスローとソフトボール投（区分8は除く）の両方に申し込むことはできません。
今回の大会で50mと100m、立幅跳と走幅跳、ジャベリックスローとソフトボール投に出場し、全国大会の選手に選考された場合は、いずれかの種目を他の種目に変更することが必要となります。

4. 特記事項

該当する全ての番号を記入してください。

ばんごう 番号	特記事項内容
1	特段の理由により競技場内に同伴する介助者の入場を希望 〔その理由を特記事項欄に記入してください。〕 原則として、招集所から解散所までは補助員等が介助します。
2	障がい区分24又は25の競走競技で、伴走者を同伴 〔伴走者は各自で手配してください。〕 ★競技の際は、紐等を必ず持つこととする。
3	走高跳で、希望する最初のバーの高さ（下限100cm） 〔特記事項欄に「3」と記入し、最初のバーの高さを記入してください。〕
4	800m及び1500mの種目で日常生活用車いすを使用 〔特記事項欄に「4」と記入してください。〕 ★但し、日常生活用車いすを使用する場合、記録は参考記録となります。 競技規則により競技用車いす（レーサー）を使用しなければならないため。

5. その他

- (1) 介助者が介助できる範囲は、競技の開始まで（競走競技の場合はスタートまで）と、競技の終了後（競走競技の場合はフィニッシュの後）に限ります。また、いかなる場合においても、競技におけるグラウンドからの応援や助言は認められません。応援等はスタンドから行ってください。
- (2) 車いすで100m以上の競走種目に出場する競技者は、ヘルメットが必要となります。なお、ヘルメットの借用を希望する者については、会場において貸し出します。（使用料：無料）
- (3) 障がい区分24は、光を通さないアイマスクの装着が必要です。※アイマスクは各自で準備をしてください。

水泳

1. 競技種目

「B」と記入してください。

2. 障がい区分

下の障がい区分の中から、自分に該当する番号を記入してください。

グループ		番号	障がい	注意事項
肢体 I	上肢	1	手部切断	①完全とは、上肢や下肢の3大関節の全てに機能障がいのあるものをいう。下肢の場合は、補装具なしでは体重を支えきれないもの。
		2	片前腕切断または、片上肢不完全	
		3	片上腕切断または、片上肢完全	
		4	両前腕切断または、両上肢不完全	
		5	両上腕切断または、両上肢完全	
	下肢	6	片大腿切断または、片下肢不完全	②関節離断は、上位の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。
		7	片大腿切断または、片下肢完全	
		8	両大腿切断または、両下肢不完全	
		9	両大腿切断または、両下肢完全	
	上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断	③体幹とは、脳原性麻痺を除く、頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形があるもの。(脊柱カリエスなど)
		11	多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全	
	体幹	12	体幹	
肢体 II	脳原性麻痺以外	13	第7頸髄まで残存	①座位バランスの判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態でも両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。
		14	第8頸髄まで残存	
		15	下肢麻痺で座位バランスなし	
		16	下肢麻痺で座位バランスあり	
	脳原性麻痺	17	四肢麻痺(車いす常用)	②頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区分に入れる。
		18	上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	
		19	両下肢麻痺	
		20	片側障がい片上肢機能全廃	
肢体 III	脳原性麻痺	21	その他の片側障がい走不能	①脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障がいを含む。
		22	その他	
		23	その他	
肢体 IV	浮具使用	24	浮具使用	
		25	浮具使用	
視覚障がい	視覚障がい	26	視力0から0.01まで(光を通さないゴーグルを装着する)	①視力は両眼の視力の和で判定する。
		27	その他の視覚障がい	
聴覚障がい	聴覚障がい	28	聴覚・平衡機能障がい	
		29	音声・言語・そしゃく機能障がい	
知的障がい	知的障がい	30	知的障がい	
		31	知的障がい	

- (注) ① 「肢体 I」は、切断・機能障がい者、「肢体 II」は、脳原性麻痺以外で車いす使用者、「肢体 III」は、脳原性麻痺のグループをさす。
- ② 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合は、片側の障がいとして区分する。
- 多肢切断や両上肢障がいなどのように、複数の部位の切断や機能障がいがある場合は、3肢以上や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。

3. 参加希望種目

参加を希望する種目については、「種目表」により、該当障がい区分及び1部・2部別（身体障がい者のみ）で出場可能かどうかを十分確認のうえ、選択してください。

		だんじょべつ　ねんれいくぶん　べつ ◎男女別・年齢区分別												だんじょべつ　ぶ ○男女別・1部				だんじょべつ　ぶ ●男女別・2部										
泳法	ばんごう 番号	しょうくぶん 障がい区分 きょり 距離	し　肢　1												し　肢　2				し　肢　3					し　肢4	し　視	かく　覚	ちやうかく 聴覚	ちてき 知的
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
じゆうがた 自由形	31	25m	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	32	50m	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
せおよ 背泳ぎ	41	25m	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	
	42	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	◎	
ひらおよ 平泳ぎ	51	25m	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	●	◎	●	●	●	◎	◎	
	52	50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	◎	◎	
ばたふらい バタフライ	61	25m	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	●		●	●	●		●	◎	●	●		●	●	●	◎	
	62	50m	○	○	○	○	○	○	○				○		○	○	○		○		○	○		○	○	○	◎	

4. 特記事項

該当する全ての番号を記入してください。

ばんごう 番号	とつ 特	き 記	じ 事	こう 項	ない 内	よう 容
1	とくだん 特段	りゆう 理由	ぶーるない プール内	どうはん 同伴	かいじょしゃ 介助者	にゆうじょう 入場を希望
	〔 その理由を特記事項欄に記入してください。 げんそく しょうしゅうじょ かいさんじょ ほじょいんなど かいじょ 原則として、招集所から解散所までは補助員等が介助します。 〕					
2	にゆうたいすい 入退水	すたーと スタート	きょうぎやくいん 競技役員	かいじょ 介助	きぼう 希望	
3	ぶーるさいど プールサイド	いどう 移動	くるま 車	か 貸し出し	きぼう 希望	
4	たーん ターン	ごーる ゴール	さい 際	きょうぎやくいん 競技役員	あいずぼう 合図棒	あいず 合図を希望
	（区分23・24）					
5	たーん ターン	ごーる ゴール	さい 際	かいじょしゃ 介助者	あいずぼう 合図棒	あいず 合図を希望
	〔 かいじょしゃ かくじ てはい 介助者は各自で手配してください。 〕					
6	すいちゆうすたーと 水中スタート	せおよ 背泳ぎ	のぞ を除く	きぼう 希望		
7	すたーとだい スタート台	した 下	とびこみ 飛び込み	きぼう 希望		

5. その他

障がい区分23は、光を通さないゴーグルの装着が必要です。

※ゴーグルは各自で準備をしてください。

障がい区分8・9・11・13・14・15・17・18・19・22は、水中スタートとなります。

1. 競技種目
「C」と記入してください。

2. 障がい区分
下の障がい区分の中から、自分に該当する番号を記入してください。

グループ	番号	障がい	注意事項
肢体不自由	1	第8頸髄まで残存	①頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区分に入れる。
	2	その他の車いす	
	3	上肢障がい	①体幹とは、脳原性麻痺を除く、頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形があるもの。(脊柱カリエスなど)
	4	下肢障がい	
	5	体幹	
	6	脳原性麻痺	①脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に原因する機能障がいをいう。
聴覚障がい	7	聴覚・平衡機能障がい、 音声・言語・そしゃく機能障がい	①「、」は、「あるいは」を意味する。
内部障がい	8	ぼうこう又は直腸機能障がい	

3. 参加希望種目
参加を希望する種目を選択し、番号を記入してください。

番号	種目名
81	50m ・ 30mラウンド(リカーブ部門)
82	50m ・ 30mラウンド(コンパウンド部門)
83	30mダブルラウンド(リカーブ部門)
84	30mダブルラウンド(コンパウンド部門)

4. 特記事項
該当する全ての番号を全て記入してください。

番号	特記事項内容
1	競技のためにいすの貸出を希望
2	特段の理由により競技場内に同伴する介助者の入場を希望 その理由を特記事項欄に記入してください。 原則として、招集所から解散所までは補助員等が介助します。
3	コンパウンドボウ並びに手に補助具(リリースエンド等の発射装置)の使用を希望(障がい区分1のみ)

卓球

- 競技種目
- 「D」と記入してください。
- 障がい区分
- 下の障がい区分の中から、自分に該当する番号を記入してください。

グループ		番号	障がい	注意事項
肢体Ⅰ	上肢	1	片上肢障がい	①完全とは、上肢や下肢の3大関節の全てに機能障がいのあるものをいう。下肢の場合は、補装具なしでは体重を支えきれないもの。
		2	両上肢障がい	
	下肢	3	片大腿切断または、片下肢不完全	②関節離断は、上肢の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。
		4	片大腿切断または、両大腿切断	
		5	片大腿および片大腿切断	
	体幹	6	体幹	③体幹とは、脳原性麻痺を除く、頸部・胸部・腹部および腰部(脊柱)の変形があるもの。(脊柱カリエスなど)
肢体Ⅱ	脳原性麻痺	7	頸髄損傷	①座位バランスの判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態での両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。
		8	座位バランスなし	
		9	その他の車いす	
肢体Ⅲ	脳原性麻痺	10	車いす使用	①脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障がいを含む。
		11	杖・松葉杖使用	
		12	上肢に不随意運動あり	
		13	上肢に不随意運動なし	
		14	片側障がい	
視覚障がい		15	アイマスク有り	
		16	アイマスク無し	
聴覚障がい		17	聴覚・平衡機能障がい、音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい	①「、」は、「あるいは」を意味する。
知的障がい		18	知的障がい	
※精神障がい (オープン競技)		OP	精神障がい	

- (注) ①「肢体Ⅰ」は、切断・機能障がい者、「肢体Ⅱ」は、脳原性麻痺以外で車いす使用者、「肢体Ⅲ」は、肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合は、片側の障がいをとって区分する。
- ②多肢切断や両上肢障がいなどのように、複数の部位の切断や機能障がいがある場合は、3肢以上や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。

- 参加希望種目
- 参加を希望する種目を選択し、番号を記入してください。

番号	種目名	備考
91	一般卓球	下記要件以外の者
92	サウンドテーブルテニス	アイマスク有り(区分15)

- その他
- サウンドテーブルテニス(区分15)に出場される方は、光を通さないアイマスクの着用が必要です。
- ※アイマスクは各自で準備をしてください。

フライングディスク

1. 競技種目

「E」と記入してください。

2. 障がい区分

下の障がい区分の中から、自分に該当する番号を記入してください。

ばんごう 番号	く 区	ぶん 分
1	ざ 座	い 位
2	りつ 立	い 位

※肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、内部障がい(ぼうこう又は直腸機能障がい)の方が出場可。

※フライングディスク競技においては、下記の年齢区分にて競技を実施します。

しょうねん 少年①	さい 13歳	さい ～14歳	しょうねん 少年②	さい 15歳	さい ～19歳
せいねん 青年①	さい 20歳	さい ～27歳	せいねん 青年②	さい 28歳	さい ～35歳
そうねん 壮年①	さい 36歳	さい ～45歳	そうねん 壮年②	さい 46歳	さい ～60歳
			そうねん 壮年③	さいいじょう 61歳以上	

3. 参加希望種目

参加を希望する種目を選択し、番号を記入してください。

ばん 番 号	たね 種 目 名		び 備 考
97	あきゅらしー ア キ ュ ラ シ ー	でいすりーと ディスリート5	ごーる きより きょうぎ じっし ・ゴールまでの距離が5mで競技を実施します。 でいすく わ なか つうか きそ きょうぎ ・ディスクがいくつ輪の中を通過したかを競う競技です。 ぜんしやう だんじょ どういつくぶん きょうぎ じっし ・全障がい男女同一区分で競技を実施します。
98		でいすりーと ディスリート7	ごーる きより きょうぎ じっし ・ゴールまでの距離が7mで競技を実施します。 でいすく わ なか つうか きそ きょうぎ ・ディスクがいくつ輪の中を通過したかを競う競技です。 ぜんしやう だんじょ どういつくぶん きょうぎ じっし ・全障がい男女同一区分で競技を実施します。
99	でいすたんす デ ィ ス タ ン ス		でいすく な きより きそ きょうぎ ・ディスクを投げた距離で競う競技です。 ざい しやう りつい わ ・座位(いす使用)、立位に分け、 だんじょ べつ きょうぎ じっし 男女別に競技を実施します。

* アキュラシーの「97」(ディスリート5)と「98」(ディスリート7)の2種目でのエントリーはできません。

2種目でエントリーする場合は、アキュラシーのどちらか1種目と、ディスタンス1種目でのエントリーとなります。

4. 特記事項

該当する全ての番号を記入してください。

ばんごう 番号	とく 特	き 記	じ 事	こう 項	ない 内	よう 容
1	視覚障がい有しているため音源を希望					
2	特段の理由により競技場内に同伴する介助者の入場を希望 その理由を特記事項欄に記入してください。 原則として、招集所から解散所までは補助員が介助します。					

5. その他

雨天時は体育館シューズが必要となる。

1. 競技種目
「F」と記入してください。

2. 障がい区分
下の障がい区分のとおりに、「1」と記入してください。

ぐるーぷ グループ	ばんごう 番号	しょう 障 が い	ちゅうい じ こう 注 意 事 項
ちてき しょう しゃ 知的障がい者	1	ちてき しょう 知的障がい	げーむ あべれーじ 1ゲームのアベレージが「80」点以上の者が参加できる。

3. 参加希望種目
参加希望種目欄は、記入不要です。

4. 特記事項
該当する全ての番号を記入してください。

ばんごう 番号	とく き じ こう ない よう 特 記 事 項 内 容
1	げーむ へいきんあべれーじ すこあ 1ゲームあたりの平均アベレージ(スコア) [「1」と記入し、その後の欄に平均アベレージ(点)を記入してください。]
2	ぼうりんぐしゅーず ボウリングシューズの借用を希望
3	ぼうりんぐぼーる ボウリングボールの借用を希望

5. その他
- (1) デュアルレーン(アメリカン)方式で1人2ゲーム行う。
- (2) ボウリング出場者は、ボウリングシューズが必要となる。なお、シューズの借用を希望する者については、会場において貸し出す。(使用料: 無料)